



神埼市議会だより

# あやとり



議会広報編集特別委員会の委員6名と佐賀県立神埼清明高校の生徒6名とNG項目なしの意見交換会を実施しました。  
地元高校生の忌憚のない意見を聞く事ができました。

詳細は20ページに掲載

## 2月定例会

### 6月定例会は6月6日開会予定です。



# 217億6,100万円 前年度当初予算と比較して1.3%増

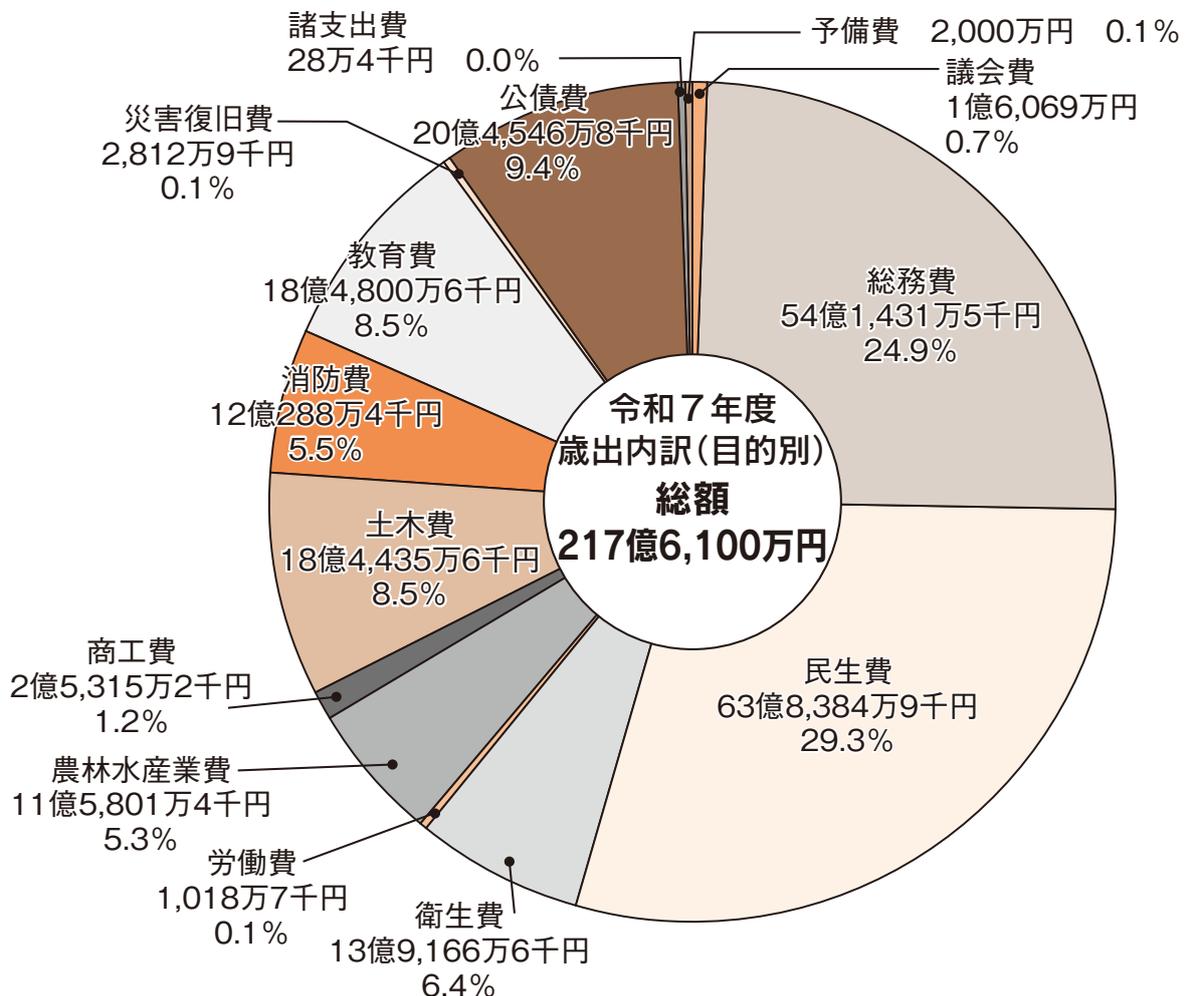
令和7年度一般会計補正予算（第1号）

3億987万2千円を追加して、**220億7,087万2千円**

2月定例会は、令和7年2月27日から3月27日まで開かれました。一般会計当初予算の総額については、217億6,100万円、補正第1号で3億987万2千円が追加され、総額220億7,087万2千円となりました。

實松市長が標榜する「子育てするなら神崎市！」のテーマを具現化するには「市民の安心安全」が重要課題であり、その先に市の活性化、にぎわいが存在するのでは？との質疑が、一般質問や委員会で交わされ、成立を見たものです。

## 令和7年度 一般会計当初予算の状況



# 令和 7 年度 一般会計当初予算

＼令和 7 年度当初予算の主な事業を紹介します／

## 地域の整備を進める～改修要望に応じて～

### ○農業基盤整備促進事業 9,821 万 2 千円

農業生産基盤の強化に努め農業の競争力と体質強化を図るため、農業用排水路及び農道の改修要望があった路線について、緊急度を考慮し計画的に整備を行う。

【工事】 水路整備：野寄地区、横武地区、蔵戸地区  
農道整備：上犬童地区、上黒井地区



過去に農業基盤整備事業により整備された農道・農業用水路

### ○集落内水路整備事業 998 万 8 千円

集落に近接している未整備の水路は、水量不足による陸地化などによる悪臭や大雨時の排水不良などにより、生活環境の悪化につながっているため、集落内の用排水路の整備を行い、集落の環境改善を図ることを目的とし、国の交付金を活用し計画的に事業を実施するため、実施計画の策定を行う。

### ○農村地域防災減災事業 3,000 万円 (全額県の農村地域防災減災事業補助金)

国営水路三田川線の末端である出来島地区周辺では、大雨による湛水、冠水被害が頻発している。

このことに鑑み、大雨時における地域住民の安全安心の確保及び湛水被害軽減を目的として、国営水路三田川線末端である出来島地区への排水機場の整備に向けた調査を委託する。



(写真は令和 3 年豪雨 国営三田川線末端)

## ＼令和7年度当初予算の主な事業を紹介します／

### 約390年の歴史を誇る「神埼そうめん」

～夏は冷やしそうめん、冬はにゅうめん 年中おいしく食べよう!!～

#### ○佐賀型伝統産業進化実証プロジェクト事業（神埼そうめん支援事業）

2,100万円（うち県補助金1,400万円）

神埼市の伝統産業『神埼そうめん』のブランド再生に事業者と取り組む!!  
特産品としての価値向上→売上アップ→稼げる産業として事業継承を行う。



## 交 流 通 行

～みんな行きたい時に行きたい人と行きたいところへ～

公共交通の確保や（生活）交通路線の維持は、生活にとっても大切です。

#### ○地域公共交通確保維持改善事業 2,344万9千円

交通空白地域の拡大や高齢化の進行に伴う交通弱者の増加などに対応するため、神崎市巡回バス運行事業など神崎市地域公共交通活性化協議会（法定協議会）が実施する取組を支援することで、住民の移動手段の維持、生活利便性の向上及び地域間交流の促進を図る。

- ①神崎市巡回バス…北部コース、中部コース、南部コース、神埼駅～千代田支所（縦断コース）
- ②NORARU（予約型乗合タクシー）



神崎市巡回バス（神埼駅～千代田コース）

#### ○神崎市生活交通路線維持事業 3,430万2千円

地域住民の日常生活を支える交通手段として将来に向けて持続可能な路線バス運行の維持を図るため、沿線自治体として適切な支援を行うことを目的とし、路線バス運行事業者に対し、運行赤字額から国・県補助等を控除した額を沿線自治体が補助を行う。

予算特別委員会の主な質疑

総務企画部

消防格納庫更新事業について

**Q** 第3分団第4部（志波屋・東山・三谷）および第8分団第4部（一番ヶ瀬・頭服）の消防格納庫更新にあたり、工事設計および工事監理業務を実施するとのことであるが、格納庫更新の基準や条件はどのようなものか。

**A** 消防格納庫の更新に関しては、建築から30年以上が経過していることを基本条件としている。そのうえで、施設の老朽度や、地域・消防団からの要望等を踏まえて、必要に応じて対応している。



令和4年4月建築の消防格納庫（姉川地区）

神崎市生活交通路線維持事業について

**Q** 本事業は、バス運行事業者に対し、運行赤字額から国・県の補助等を差し引いた金額を沿線自治体が補助するものであるが、江見線については、運行事業者から路線廃止時期の1年延長および減便の方針が示されている。

今後、当該路線が廃止された場合、沿線の各自治体が代替交通手段を確保するための経費負担を考慮すると、補助金を増額してでも運行を継続してもらう方が沿線の各自治体にとって有利ではないか。

**A** 沿線自治体としても、補助金を増額して路線の運行継続を図ることが望ましいと考えており、その意向は運行事業者に対して既に伝えている。

現時点で運行事業者の最終的な判断は不明であるが、自治体としては再検討を要請しているところである。



廃止時期の1年延長・減便の方針が示された西鉄バス江見線

市民福祉部

妊婦のための支援支給金事業について

**Q** 妊娠して申請すれば5万円、また出産後に申請すれば5万円があり、合計10万円の給付金と理解しているのか。

**A** 令和4年度から創設された出産子育て応援給付金で、継続事業である。質問の通り10万円の給付金が支給される。

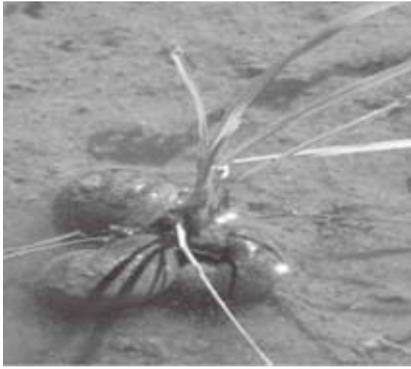


産業建設部

農業振興総合対策事業について

Q スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）駆除対策の農業補助金で、どのように生産者に周知するのか。

A 短期間で効果が出るような取組みにするため、チラシ等を配布し、農家の方に分かりやすい内容で周知する。



スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）

旧庁舎跡地整備事業について

Q 市民が集える効果的な空間整備とは、一体どういうものなのか。また南新館がまだあるがどのように考えているのか。

A 空間整備は周囲には、歴史的な櫛田宮・旧長崎街道等多くの構築物が点在しており、景観と調和した整備を行う。また南新館においては、今後取壊しが必要になった場合はそのタイミングで取壊したいと考えている。



神崎市役所旧庁舎跡地

教育委員会

姉川城跡整備事業について

Q 事業目的に案内看板の設置と書いてあるが、どこにどのように案内看板を設置予定なのか。

A 現在案内看板については、姉川農村公園に看板を置いている。それ以外では、お手製の看板を庄司屋敷等に置いているので、これらを綺麗な看板に形を整えてそれぞれの島が、このような場所であったのか分かるよう設置していく。またその他に案内看板としてここがどのようなところであったのか、それぞれの案内看板を作る予定である。



姉川城跡（南より）



姉川城跡内の看板（奥館）

## 常任委員会のQ & A



各常任委員会での審議について、質疑を抜粋して紹介します。

### 総務常任委員会

総務常任委員会では、条例案件7件、その他案件1件について審議を行いました。

#### 議案第12号：神崎市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正について（全員賛成）

Q

勤務年数区分に「35年以上」が追加されるとのことだが、施行日以降、この区分に該当する消防団員は何人いるのか？

A

令和7年4月1日現在で、対象となる35年以上の団員は22名。

#### 議案第26号：機構改革に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について（全員賛成）

Q

「ゼロカーボンシティ推進課」という名称について、高齢の方などには分かりづらいのではないかと？

A

今後、市報などを通じて、どのような業務を行う課であるかを、分かりやすい表現で紹介していく。



新設されたゼロカーボンシティ推進課

#### 議案第28号：市道朝日橋・城原線(鯉河原橋)道路災害復旧工事(下部工他)請負契約の締結について（全員賛成）

Q

今回の契約は下部工他の工事のみとのことだが、上部工とまとめて一括で入札できなかったのか？

A

下部工（橋の土台）と上部工（橋本体）は工種が全く異なるため、それぞれ専門の業者に分けて発注している。県にも確認済みで、建設業法上も分けて発注するのが適当との意見である。



鯉河原橋の被災状況

文教厚生常任委員会

文教厚生常任委員会では、条例案件6件について審議を行いました。

議案第13号：神崎市国民健康保険税条例の一部改正について

Q

県内の自治体で、国民健康保険税を滞納されている方々に資格証明書あるいは短期保険証を発行しているが、県の指導はあるのか。

A

12月2日にマイナ保険証に移行したことにより、短期保険証は廃止されており、神崎市では今のところ資格証明書の発行は行っていないが、今後、県内で事務的な統一がなされることになる。

議案第14号：神崎市手数料条例の一部改正について

Q

今現在の証明書の発行の交付の実施については、窓口交付とコンビニ交付はどのような状況になっているのか。

A

令和5年度実績では、窓口交付件数は19,430件、コンビニ交付件数は6,246件であり、コンビニ交付率は24.3%となっている。

Q

窓口交付がコンビニ交付の約3倍であり、やはり高齢者が窓口に来られると思われるが、コンビニ交付に関する対応は市としてどのように考えているのか。

A

市役所1階にキオスク端末を設置しており、マイナンバーカードをお持ちの方にはキオスク端末での交付を案内し、操作の方法など周知していきたいと考えている。



市役所1階のキオスク端末

議案第17号：神崎市憩の家設置及び管理に関する条例の一部改正について

Q

現在100円の憩の家の「娯楽室」使用料を300円に引き上げる内容であるが、300円の根拠はなにか。

A

娯楽室の使用料は、年間約30万円の収入であるが、経費としてカラオケ機械リース料に約80万円を要しており、備品のクリーニング費用等を合わせると総額100万円程度の経費が必要であるため、娯楽室の利用者が相応の負担をしていただくということで300円に設定している。



神崎市憩の家 仁比山温泉「もみじの湯」



## 賛否があった議案を紹介します。

### 議案第13号

### 議案名：神崎市国民健康保険税条例の一部改正について

意見書番号	議決結果	野副芳昭	平山文也	吉田守	大野秋人	末次勝	増田紀之	徳川博人	副島英樹	服巻玉美	中野均	野口英樹	白石昌利	原口ひさよ	田原和幸	木原憲治	永沼彰	福田清道	佐藤知美
議案第13号	賛成多数	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×

野副芳昭議員は議長のため採決に加わっていません。

### 反対討論 佐藤 知美 議員

今回の税条例の一部改正の内容は、県から示された標準保険税率を基に算定し、激変緩和措置として財政調整基金から38,985千円を繰り入れ医療分と後期高齢者医療支援金分に活用して税率・税額の改定となっています。

今回の改定によって、基礎課税額の被保険者均等割額が現行の24,000円から26,800円へと引き上げになり、後期高齢者支援金等課税の所得割率100分の2.40から100分の2.45へと改定がなされ全体で7項目の被保険者負担が引き上げられています。

現行税額と改定された税額の比較では、7割軽減の65歳以上単身一人世帯では課税標準0の場合、現行21,000円が22,300円となり、65歳以上単身一人世帯、課税標準額970,000円では186,000円が191,500円の引き上げになり、40歳～64歳夫婦2人に39歳以下の子ども2人の世帯で課税標準額1,670,000円の2割軽減の世帯では現行税額は384,400円が405,200円と20,800円の引き上げへと改定されています。

国民健康保険の構造的な問題で所得が低い被保険者が多く、これまで、「国保税は高すぎるなんとかして欲しい」という声が多数ある状況での新たな負担増を強いる、今回の国民健康保険税の一部条例改正を認めるわけにはいかないという事を発言し反対討論とします。

### 賛成討論 原口 ひさよ 議員

国民健康保険事業については、佐賀県国民健康保険運営連携会議において、令和9年度には県内税率を一本化、令和12年度には業務集約センターの設立を目指すことと併せて保険税の完全統一をすることで合意されています。

神崎市においては、ご存じの通り平成20年度から国民健康保険税率の改定は行わず、国民健康保険財政調整基金を充当し運営がなされてきました。

平成30年度の制度改正により、被保険者の保険税が急激に増加することがないように措置された激変緩和措置に該当したため、令和3年度までは基金を積み立ててこられました。令和4年度からは該当しておらず厳しい財政運営となっています。

令和7年度は県に納める納付金の納付に必要な財源に不足が生じることから保険税率が改定されます。

今回の改定は、令和9年度の県内税率一本化に向けて、令和6年度の基金の決算見込み約7,700万円のうち、3,898万5千円を充当し、被保険者の負担が急激に増加することがないように対応されていることは評価できるものであります。

被保険者の方が安心して医療を受けられるための段階的な保険税率の改定は必要な事だと考えます。

以上のことから、今回の議案、神崎市国民健康保険税条例の一部改正についての賛成討論といたします。

## 議案第 21 号

### 議案名: 令和 7 年度神崎市国民健康保険事業特別会計予算

意見書番号	議決結果	野副 芳昭	平山 文也	吉田 守	大野 秋人	末次 勝	増田 紀之	徳川 博人	副島 英樹	服巻 玉美	中野 均	野口 英樹	白石 昌利	原口 ひさよ	田原 和幸	木原 憲治	永沼 彰	福田 清道	佐藤 知美
議案第 21 号	賛成多数	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×

野副芳昭議員は議長のため採決に加わりません。

### 反対 討論 佐藤 知美 議員

2025年の国保財政にたいする国家予算は医療費分について24年比1,334億円減額となり、定率国庫負担金、調整交付金を減額したことからの市国保財政にたいする県支出金も1億8,962万円の減額となっています。この主な要因として被用者保険の適用拡大にともなう加入者の減少とされていますが、全国の被保険者の実態は滞納世帯が289万と、全加入者の15%を超えています。

国保加入者の構成も、以前は7割が「農林水産業」と「自営者」でしたが、いまでは43%が「無職」、34%が非正規雇用などの「被用者」で合わせて8割近くになっています。

国保に対する国の責任後退と国保加入者の貧困・高齢化、重症化が進む中で国保税の被保険者負担増が止まらなくなっています。このような現状から地方3団体からも国民健康保険制度に対する意見や要望が出されています。全国知事会は2014年に国保財政の基盤強化を求めて1兆円の財政投入を求めています。

全国市長会、町村会は2022年12月に国民健康保険制度等を巡る議論等に対する意見として、「法定外繰入等の解消や保険料水準の統一、更に普通調整交付金の配分の見直し等について、議論等が行われているが、国保等の保険者の苦境と被保険者の負担感に配慮したのではなく、地方分権の趣旨に反すると懸念される内容も散見される」という意見を出しています。

このような全国の国保を巡る状況の下で、令和7年度の国民健康保険事業特別会計予算では、国民健康保険税の歳入は昨年比31,271千円の増となっています。これは激変緩和措置で基金繰入38,985千円をしても、税条例の一部改正により被保険者の負担が増加し、市の国保世帯3,500世帯から1世帯当たり9,000円の負担になり、今の物価高騰、年金減少の中での被保険者の生活に新たな負担を強いる予算に反対の立場を表明し討論とします。

### 賛成 討論 末次 勝 議員

令和7年度の神崎市国民健康保険事業特別会計当初予算においては、国保税収納対策の推進やデータヘルス計画による計画的な健康増進の事業を進めることとなっており、保健事業では、特定健康診査等事業の実施や、健診結果に基づく特定保健指導による生活習慣病の重症化予防の取組みの推進を図るヘルスアップ事業など、被保険者の健康維持・増進と医療費の適正化に向けた取組みが計画されています。

一方、国民健康保険税収入は、被保険者数の減少と低所得者の加入割合が高いことから、国保財政は大変厳しい状況にある中、神崎市においては、平成20年度から令和6年度までは、税率の変更は行わず、税収の不足分は、国民健康保険財政調整基金からの繰入れや保健事業、保険税の収納対策等の取組みへの評価で交付される交付金等を活用し、保険税の据え置きに努力されてきました。

令和7年度は、県に納める納付金の納付に必要な財源に不足が生じることから保険税率が改定されます。

令和7年度予算編成においては、令和9年度の県内税率一本化に向けて、被保険者の方の負担が急激に増加することがないように、基金を充当し段階的に計画、対応されていることは、評価できるものと考えております。

被保険者の方が安心して医療を受けられるために段階的な保険税率の改定は必要な事だと考えます。

以上のようなことから、今回の議案、令和7年度神崎市国民健康保険事業特別会計予算の賛成討論といたします。

# 市政を

# 問う

## 2月定例会一般質問

一般質問は、令和7年3月5日、6日、10日、11日の日程で行い、15人の議員が登壇し、議論を交わしました。

一般質問とは…議員が、市政運営全般にわたり、問題意識を市政に投げかけ、市の見解を直接求めるものです。

各議員のQRコードを読み取ることで、パソコンやスマートフォンで議会の中継・録画が視聴できます。

**議員** 移住・定住対策について、国の方では、二地域居住対策、ふるさと住民登録制度と併せた住民税の分割納付制度、自治体の事業立案能力を強化する狙いがある地方創

生塾など移住・定住対策の強化という観点から施策の推進が図られているが、この対策についてどのように考えられているのか。

**議員** 都市基盤の整備のための幹線道路網の整備計画は重要であるが、整備が中断している都市計画道路三本松線についてどのように進めるのか。



平山 文也 議員

## 道路政策と移住・定住対策について

生塾など移住・定住対策の強化という観点から施策の推進が図られているが、この対策についてどのように考えられているのか。

署を設置したいと思っ

**市長** 人口減少が進む中、しっかりと人口減少対策をやっていく必要がある。

この中で新年度の予算の中では、脊振・千代田

その中で、出生率向上と併せて移住・定住者を増やす取り組みは大事である。そのため新年度の組織改正の中で移住・定住推進課という新たな部

の活動など国の動きもしっかり注視して取り組

組織改正の中で移住・定住推進課という新たな部

の活動など国の動きもしっかり注視して取り組

組織改正の中で移住・定住推進課という新たな部

の活動など国の動きもしっかり注視して取り組

### その他の質問

- ・通学路の安全安心対策
- ・神埼高校跡地対策



都市計画道路三本松線





福田 清道 議員

コンサルタント任せのまちづくりでいいのか



区が高齢化している中で、住民が安心して生活できる地域を作ってほしいというのが地元の人たちの多くの意見であった。

**議員** 旧長崎街道神崎宿のコンサルタント任せの観光拠点づくりは再考を求めます。

また、コンサルタント会社で作成した報告書に市は令和5年度、16,990千円支払っている。令和6年度は報告書作成費用に20,000千円の予算を組んでいる。市はまちづくりの大きな柱であるこの事業計画

画をどこが担当し、どれだけの職員がこれを論議しているのか。

**議員** この報告書の中身はホテル事業など試算があまりにも甘すぎる。市長はどう考えているのか。

**市長** 観光拠点にはこだわらず、歴史を生かしたまちづくりをやりたい。

**議員** 私がこの地区の住民の方たちに、観光拠点づくりについて伺ったところ、観光地化より、地



まちづくりが求められる旧長崎街道



徳川 博人 議員

市管理の、準用河川の整備計画はあるのか



活用し整備を行い、局部的に護岸の状況が悪い箇所から取り組んでいく。

新しい地方経済・生活環境創生交付金の活用について

**議員** 地方創生の中で、六次化産業に積極的に取り組まれないか。

**松永農林水産担当理事** 地域資源を活用した新たな付加価値を生み出すため、実効性のある取組みを検討していく。

**議員** 馬場川、三本松川上流の準用河川部分の整備はどのように計画しているのか。

**野中建設課長** 準用河川の整備については、緊急自然災害防止対策債等を



馬場川準用河川



**議員** 地域資源を活用した竹をブランド化できないのか。

**實本農林水産課長** 市内に221ヘクタールの竹林があり、竹をテーマとした地域ブランドの確立やたけのこの生産をすることで、観光資源としての活用が期待されるため、地域の意見を聞きながら調査研究を行う。

**議員** スマート農業振興の中で、神崎市は南北に細長く田植え期間も約50日間位あり農業機械のリース又はシェアリングができないのか。

**農政水産課長** 本市では脊振町の北部と神崎町・千代田町の南部地域では農作業を行う時期が異なるため農業機械のシェアリングを行うことは、生産費の削減に向けた有効な取組みであるため、先進事例を参考に調査研究を行う。

平山教育部長 令和7年度当初予算で、基本設計委託料を上程しており、市議会の議決を受け、佐賀県ローラースポーツ連盟などに意見を聞きながら、具体的な規模について検討を行い、基本設計に盛り込みたいと考えている。また、基本設計の概要がまとまり次第、候補地の地元地区への説明を行い、理解を得ながら整備実現へと進める。



末次 勝 議員

議員 令和6年8月定例会において市長がスケートボード場整備の検討を指示された旨は発言されているが、具体的な検討内容及び現状について伺う。

## スケートボード場の整備について



議員 スケートボード場の整備について、将来のビジョンを含めて市長の考えについて伺う。

市長 子どもたちがここに集まってお互い交流し、そして更なる輪が広がる場になればと思っている。最初はイメージ的にスマートフォンスタートを考えている。敷地の周りをメッシュフェンスで囲み一定管理ができるようにし、夏場は暑さ対策とし屋根があった方がいいと考える。セクションは木製で移動可能なものにして比較的簡単な構造でよいと思う



唐津市内でのスケートボード場の様子

ており、練習する子どもたちのレベルが上がってきたら、それに合わせセクションのレベルも上げて充実させていくと考えている。まだこれから議論して設計をしていく段階なので、一定整理がいたら市民の皆さんにもしっかりと説明し、不安に思われる点が無いように課題等を解決し、市民から喜ばれる施設としてオープンできればと思っている。

その他の質問  
・市民の移動手段について



白石 昌利 議員

議員 あらゆる世代が元気に笑顔あふれる市民が暮らすまちづくり。市が抱える課題など解決に向けた取り組みの中で、過疎化・高齢化の進行により集落機能の維持が懸念されるのが中山間地域である。住民が食事や買い

## 市民の安全で健康な笑顔あふれる暮らし(生活)を支える



物、通院をはじめ日常生活に困らない取り組みは不可欠である。そして、医療は地域に安心をもたらす。しかし、高齢化の進行等に伴う通院が困難な人の増加や生活習慣病の重症化等のリスクへの対応、人口減少等を背景とした受診者数の減少、医療従事者の安定的な確保が難しいことなど、医療に係る様々な課題が生じている。この先も住み慣れた地域で安心して医療サービスが受けられるように、地域の特性を踏

まえた持続可能な医療の確保を図る為に、持続可能な脊振診療所の運営についての取り組みを伺う。

吉田脊振支所長 脊振診療所には内科医師と歯科医師がそれぞれ1名ずつ、看護師が2名、会計年度任用職員が5名の計9名が在籍しており、患者の診療を行っている。歯科については、平成7年4月から勤務しており、勤続年数は30年で、現在の診療所スタッフの中でも一番長く在籍され、患者の口腔ケアや歯の治療が行われている。

脊振診療所は、脊振町内にある唯一の診療施設であり、住民の健康管理、地域医療及び一次診療機関として、今後も皆様が安心できる暮らしの為に、住民の健康福祉に貢献できるように努力していく。



脊振診療所は地域住民のかかりつけ医



小型動力草刈機

**議員** 担い手、集落営農、法人に関しスマート農業支援で大型機械購入に関して助成金が出たが、経営規模が小さい農家や集落営農、法人組織の組合



増岡 紀之 議員

小規模農家にも  
優しい支援は出来ないか

員で3ヘクタールや4ヘクタールといった水田を耕作している者も沢山いる。そういう規模の耕作者に対し自走式草刈り機等の小型機械の購入に際し、優しい助成は出来ないか。そうする事により離農者も減少するのではないか。

**松永農林水産担当理事** 小規模農家への支援は現行の制度では出来ない。

職員採用試験及び  
職員採用について



**議員** 職員採用試験において高卒程度、大卒程度と試験を区分することは出来ないか。高卒現役ではかなり狭き門となっているが、高卒合格者は殆んどが専門学校を卒業後に受験している。専門学校に通わせたいが資金がない父兄も居るように聞く、他の市町では、地方上級、地方初級と区分して採用試験を実施している市町もあるが如何か。

**山田総務課長** 地域に根差した職員の確保は市政運営にとりましても重要な課題であると認識している。今後の高卒卒の採用については県内外の事例も参考にしながら検討していく。



永沼 彰 議員

昨今の多様化する  
犯罪の実態について伺う

談の内容、対応について伺う。

**野中商工観光課長** 本市での相談業務は「特定非営利活動法人消費生活相談員の会さが」へ業務委託し専門スタッフが対応している。毎週火曜日と金曜日の午前9時から午後3時半まで電話・対面で相談を受けている。相談件数は令和5年度413件受けている。

**議員** 若年層の犯罪への関わりが問題になっているが、学校ではどのような

な教育を行っているのかについて伺う。

**松枝学校教育課長** 学校では間バイトなどの犯罪への関与を防ぐため情報モラルの講演会を開催し、外部の専門家からSNSなどで巻き込まれない対処法について学ぶ機会を設けている。保護者に対しても、長期の休業に入る前の生活心得の文章で児童・生徒がSNS等のトラブルに巻き込まれないよう注意喚起を行っている。



**議員** 様々な消費者トラブルによる消費生活相談があつていと聞く。相

**中島総務企画部長** 佐賀県での同様の犯罪実態は県警本部の資料では、犯罪の認知件数は年々増加し令和2年29件、3年33件、4年74件、5年169件、令和6年277件、被害総額は10億円に上り最悪の状況である。年代別にみると65歳以上が多である。

消費生活相談窓口一覧 (相談は無料です)

■消費者ホットライン TEL:188(いっぴい) お近くの相談窓口を案内します

■佐賀県消費生活センター  
TEL:0952(24)0999 9時~17時 (年末年始除く)  
FAX:0952(24)9567 ※16時30分までにお電話ください  
メール: shouhisoudan@pref.saga.lg.jp  
佐賀市天神三丁目-2-11 (アバンセ3階)

■市町消費生活相談窓口一覧 ※1

相談窓口	電話番号	相談日	相談時間
神崎市商工観光課	0952(37)0107	火・金	9時~12時・13時~15時

※1 市町相談窓口受付は年末年始・祝日を除きます。

消費生活相談について

# 一般質問

神崎市議会だより 第72号 (令和7年2月定例会)

**議員** 約600ヘクタールの市有林が伐採時期を迎えているが、森林計画に基づき、適正に管理されているのか。

**松永農林水産担当理事** 神崎市森林整備計画に基づき、10カ年の計画を策定。森林経営計画と特定間伐促進計画によって、間伐施業を年間5ヘクタールから10ヘクタール施業。森林が有する国土の保全、水源涵養、地球温暖化防止や林産物の供給に努めている。

**議員** サガンスギを活用した林業活性化などの計画はあるのか。

**農林水産担当理事** 計画的に主伐を行い、再造林



服巻 玉美 議員

## 市有林の現状と 今後はどうする

を行う場合、経済面や環境面でメリットのあるサガンスギの植林を推進したいと考えている。

### 高取山とその周辺の今後の取り組みについて

**議員** 城原川の赤い橋は老朽化が著しいが、再整備の考えはないのか。

### 農林水産担当理事

城原川に架かる赤い橋「ふれあい橋」の状況は、近年の豪雨などにより、管理歩道の一部が崩落、通行不可能であるが、災害復



高取山の斜面に彩りを添えるアンブレラボール

旧を行うため、毎年、佐賀県に要望を行って

**議員** 現在、利用できないモノライダーを活かす取り組みとして、イルミネーションなどを展開できないか。

### 田中市計画課長

支柱付近の斜面や藤棚をカラフルなアンブレラボールを設置してPRをしている。イルミネーションも有効なPRになると考えている。



**議員** 介護保険は2010年以降は保険料を始めとして、利用負担の増加、サービスの抑制が続いているが、高齢者、家族を介護されている方からの包括支援センターへの悩みや相談の内容はどの様なものか。

**八谷福祉事務所長** 令和5年度はセンターへの相談が2,189件で、相談内容としては介護保険に関する事、福祉サービスに関する事、認知症に関する事の順になっている。

**議員** 次に、老健施設、特別養護老人ホームの待機者、待機年数はどのような状況か。



佐藤 知美 議員

## 神崎市における 介護の状況について

### 福祉事務所長

市内の特養施設は3施設あり、現時点で30名おられ、待機期間についてはおおむね6カ月以内に入所されている。老健施設については、市内に1施設あり待機者数は7名で、待機期間は長くて5カ月以内。

### 議員

特養、老健施設の利用料は最低でどのくらいの負担となっているか。

### 福祉事務所長

特別養護ホームは、要介護3以上が対象となり、要介護3では施設サービス費1割の目安が21,960円、これに居住費、食費が加わり、月当たり5,300円程度、老健施設もほぼ同程度。

### 議員

今全国では、国の介護報酬の減額により介護訪問事業所の激減が社会問題となっている、2月時点で訪問介護事業所がゼロの自治体が97自治体佐賀県でも、玄海、太

良、吉野ヶ里町がゼロとなっている、これは自宅介護されている方々の大きな不安となっているが、神崎市の現状は。

### 福祉事務所長

神崎市には現在6事業所あり1事業所が令和2年より休止されている。

### 議員

休止されている原因は。

### 大坪高齢障がい課長

施設の入所施設のほうに人員を配置されて休止と聞いている。





木原 憲治 議員

## 橋梁の保守点検、安全性について



管理者は橋梁ごとの健全性の診断区分を決定することが義務づけられている。

**議員** 市内の橋梁数でおおむね50年とされる耐用年数を超えている橋梁はいくつあるのか。

**産業建設部長** 現在市道橋は698橋あり建設年度が判明している橋梁は57橋で、橋梁台帳に建設年度が記載されていない橋梁が462橋ある。

**議員** 不明な橋梁まで含

めると70%以上の橋梁が耐用年数を超えていることになり今後も安全対策を強化して頂きたいと思うが、特に愛逢橋については床版の両端部分が腐食しているが安全性は保たれているのか。

**野中建設課長** 床版端部にひび割れ、腐食などの損傷が見られており令和7年度の道路橋梁維持費において対処したいと考えている。



床版がひび割れ、腐食し早急な補修が望まれる。



**議員** 道路橋の安全性については、平成25年の道路法改正において橋長2m以上の橋はすべて5年に一度の保守点検を行うことが義務づけられたが、現在の状況はどうなっているのか。

**産業建設部長** 平成26年度から始まった定期点検においては、国土交通省が策定した橋梁定期点検要領に基づいて実施しており、平成30年度に1巡目点検が完了し、2巡目点検を令和元年から令和5年度までで実施し、令和6年度から3巡目の定期点検を行っているところで、現在行っている法定点検においては道路



中野 均 議員

## 生活道路の整備について



多数の凹凸があり、大きな水溜まりが出来て大変困っており、地域からは市に要望していると聞きますが、早急な対策として舗装を行う考えは。

**産業建設部長** 当該道路は、市道や農道として認定されていないので、市として河川管理上からの舗装の必要性について東部土木事務所の考えをまず伺いたいと考えています。

**議員** 上黒井地区(国道34号姉川橋間の中地江川堤防道路は、通勤・通学・買物及び農作業道路として、多く利用されているが、一部区間は砂利道で



大きな水溜まりのある中地江川堤防

**議員** 当該道路への舗装新設については河川占用手続きが必要であり、市が申請者となるが、市の積極的な姿勢が見えてこない。市長の考えは。

**市長** 現場の声、市民の声をしっかり聞いて対応して行きたい。

## 行財政改革について

**議員** 令和5年度決算審査において、各種事業・委託業務関係の契約変更件数が多いので、設計変更会議実施要領等を設けて、変更の妥当性、判断の透明性・公正性の向上を高めるため、実施要領を設ける考えは。

**中島総務企画部長** 佐賀県の設計変更会議実施要領及び建設工事設計変更ガイドラインに準じて事務を行なっており、各課の現状や意見を十分に調査し、その結果を踏えて議論する。

## 事前排水・田んぼダムで 水害対策



副島 英樹 議員

田んぼダム事業継続の具体的な内容期間について。

**實本農政水産課長** 令和7年度以降の県事業で、一部変更はあるもののこれまで同様、堰板と協力の交付が継続予定。事業期間は、令和7年度から令和9年度までと聞いている。

**議員** 令和7年度クリーク事前排水の取組について。

**松永農政水産担当理事** 令和7年度もこれまで通りクリークの事前排水に取り組み。また国営三田川線と県営浮島線の水を東西の水路を使い、分散し効果的な排水操作も検討する。

**議員** 令和7年度以降の



国営三田川線末端



国営千代田線末端

**議員** 大雨時の国営千代田線からの排水について、末端に新たな排水機場を設置、城原川への排水について市の考えを伺う。

**農政水産課長** 排水機場を設置し城原川へ排水することは、流下能力へ影響し、城原川の被害を助長する可能性もあり、国営水路末端地域の内水対策として、千代田排水機場の施設更新や能力増強を国、県に要望する。

**議員** 国営三田川線末端の出来島地区に排水機場を整備するため3千万円の予算が挙げられているがどのような計画か。

**農政水産担当理事** 国営三田川線末端の出来島地区の湛水被害軽減を目的とし、令和7年度に排水機場整備に関する協議検討に向けた調査に着手するための予算となっている。7年度は、排水解析、排水流域及び排水系統の検討、施設計画の検討を予定している。

### その他の質問

- ・ 令和7年度神崎市の地方創生について
- ・ 路線バス江見線の廃止問題について地方創生の面からの取組みについて
- ・ 市内巡回バス事業について

## 繁茂し流下した水草の 除去は地区では無理



野回 英樹 議員

での対応をお願いしたい。

**松永農政水産担当理事** 近年、市内のクリークや河川においてはホテイアオイなどの水草が繁茂しており、生活環境や自然環境への影響が懸念されている。水門などの施設に堆積することでクリークや河川の流下障害や施設の操作の妨げになることが考えられる。河川管理者等が行う水草除去と

**議員** 市内のクリーク、河川に水草ホテイアオイが繁茂している。地域環境にも悪影響を出している。管理者である市や県

併せて地域住民自らが地域保全活動として取組んで頂く必要があると考えている。

**實松市長** 地区で除去できない分については、市で予算を確保して対応していきたいと思っ

**議員** 市内交通弱者に対する対応について

**議員** みやき町では、タクシー料金の助成事業を導入されているが、神崎市も交通弱者や高齢者、障害者等に対してのタクシー料金の助成事業の導入は考えられないのか。

**實松市長** メリット・デメリットをふまえて、神崎市の中において、どういったやり方が一番いいか考えていきたい。



繁茂した水草ホテイアオイ (市内クリークの状況)



吉岡 守 議員

## これからの神崎市の 開発計画について



形成を図るとあり、JR

神崎駅周辺の拠点形成と都市施設整備の取組方針に基づき事業を進めている。観光拠点形成として、

JR神崎駅への特急・快速電車の停車を目指し、

**議員** 神崎市のJR長崎線以北及び神崎駅周辺の開発計画はあるのか。

**嶋産業建設部長** 第二次

神崎市総合計画後期基本計画では、神崎駅の拠点



神崎の城原川ダム付け替え道路計画での終点付近(水車の里付近)

いる。

## 城原川ダム建設の 現状について

**議員** 城原川ダム建設の進捗状況はどうなっているか。

**花島ダム対策担当理事**

吉野ヶ里歴史公園を核として魅力情報の発信や特産品、地域資源を活用したプロモーション活動、観光客の回遊促進を図ることで観光拠点形成につなげていきたいと考えて

平成30年に建設事業に着手以降、地質調査や付け替え道路の検討が進められており、国による水没予定地区の方々への個別補償協議が進められており、神崎地区土地開発公社にて、神崎町志波屋地区と平ヶ里地区の2箇所集団移転地の造成に取り組んでいる。また、県道三瀬神崎線は、神崎町と脊振町を結ぶ唯一の基幹的道路であり、道路の付け替え計画では、岩屋地区を起点とし、市道中の原・岩屋線の交差点から小測地区の水車の里付近を終点として現道に接続するように計画されている。



大野 秋人 議員

## 高齢者等へのごみ出し 支援はできないか



型サービスBとして、ごみ出しをはじめ、生活の困り事の支援を始める。今後も高齢者の生活支援につながるような仕組みをつくっていきたい。

**議員** 令和2年度に環境

省から高齢者ごみ出し支援制度導入の手引きが発表されている。これによると様々な形態の支援制度がある。そのような支援制度を積極的に取り入れるべきだと思いが市としての考えは。

**大坪高齢障がい課長** 先ほど議員が言われた制度

のことは、全国的に高齢化社会を見据えた体制構築を支援する事業と理解している。4月から神崎市が実施する訪問型サービスB事業は、NPO法人に実施していただき、地域の皆様の協力を得ながらごみ出しを含む高齢者の困り事全般の支援に取り組み地区や団体の方々と一緒に支援方法などを検討していきたい。

### その他の質問

・下水道事業について  
・内水氾濫対策について

### 八谷福祉事務所長

現在、神崎市では、介護サービスとしての訪問支援サービス、介護サービス以外では、社会福祉協議会のちよこつとボランティアがある。また、来年度4月より新たに訪問



資源ゴミの回収



# 神埼清明高校との意見交換会



## 神埼清明高校生徒会 のみなさん

- 原田 慎太郎さん(会長)
- 香月 貴恵さん(副会長)
- 原 朋花さん(書記)
- 末安 こころさん(会計)
- 坂口 明鈴さん(交通委員長)
- 桑原 綾梨さん(保健委員長)

4月7日に、神埼清明高校の生徒会のみなさんと議会広報編集特別委員会でNGなしの本音トーク!! 「神崎市にあったら良いな」など聞いてみました。

### 神埼駅から学校までに一番あったら良いな…

- おにぎり屋さん
- たい焼き屋さん
- ハンバーガー屋さん
- ゆめぷらっと小城のような集中して勉強できる施設

### 改善出来たら良いな…

- 神崎市立図書館の学習スペース
  - ☛ちょっと外の声等が騒がしくて集中して学習できない。
- 学校内の手洗い箇所
  - ☛トイレにしかないの、歯磨きと手洗いで混雑してします。
- 神埼駅にWi-Fi設備
  - ☛電車待ちの時間が長いので・・・

### 議会だよりについて

- 高校生のボランティア活動とか掲載されていたら興味を持つと思う。

## 編集後記

4月3日の佐賀新聞に「神崎市議が佐賀新聞記者にセクハラ」という見出しで議員の実名を掲載し報道がなされました。今、ハラスメント全般の行為については、社会の厳しい指摘がなされる中で、本市議会議員のハラスメント行為については残念であり、許されるものではありません。

私を含め、他の同僚議員に対し多くの市民の皆様より「情けない」「議会なんぼしよつか」等の叱責を受けております。至極当然の事であり、当該議員に対して議長より「訓告書」による嚴重注意がなされ、神崎市議会としても今後このような不適切行為の根絶のために、議会倫理条例の制定に向けて協議検討中であり、市民の負託により市政に係る職責を有し、その負託にこたえるため、政治倫理の向上と確立に努めていく必要があります。そのためには人としての倫理道徳が求められることを深く認識しなければなりません。今回の事例を一個人の不祥事としてとどめることなく、我々議員の一人ひとりが襟を正す事例として真摯に受け止め、議会政治の原点を再確認し、真に市民の負託に応える議会活動を進めていきます。

(議会広報編集特別委員会 編集委員一同)

### 議会広報編集特別委員会

- |       |       |      |       |
|-------|-------|------|-------|
| 委員 長  | 佐藤 知美 | 委員 副 | 副島 英樹 |
| 副委員 長 | 末次 勝  | 委員   | 徳川 博人 |
| 委員    | 田原 和幸 | 委員   | 大野 秋人 |

料金受取人払郵便



差出有効期間  
令和8年3月31日まで  
(切手を貼らずにお出しください)

郵便はがき

842-8790

(受取人)

神崎市神埼町鶴 3542 番地 1

神崎市役所 議会事務局  
議会広報編集特別委員会 行  
(神崎市議会だより第72号2025.5月号)



ふりがな  
ご氏名

□□□-□□□□

ご住所

お電話番号 ( )-( )-( )